

安房を一つに。 = One AWA =

館山・安房地域を、子ども達が誇れるまちにしたいと思いませんか？

守るべきものは守りながら、将来へのビジョンを掲げ、新たな
第一歩を踏み出したい。でも一人でできることは限られています。
ワクワクしながら、館山の安房地域の次の時代を、心を合わせて
ともに創っていこうではありませんか！

1. 安房地域全体の将来を見据え、 次世代に責任の持てる行財政運営をする。

- ① 長期的視野で全事業をゼロベースで見直し、メリハリをつけた財政改革を行う。
費用対効果の検証を明確にして、将来への布石（投資）はしっかり打つ。
- ② 官民協働プロジェクトでまちの再生に取り組む。
安房地域全体が発展するための総合的なまちづくり計画を策定する。
- ③ たてやま未来100人会議（仮称）の開催。
（市民が自分事として課題の解決策を話し合う）

2. しっかり稼げるまちにする。

- ① 巨大マーケットに直結しながら、身近な自然と温暖な気候をあわせ持つ立地条件を活かし、都会に暮らす人々が繰り返し訪れる海辺の憩いのエリアとしての地位を確立する。 マリンレジャーの充実、体験重視、歴史散策、スポーツ観光。
- ② 行政は、国や県との交渉、特区申請等により、民間が収益をあげられる仕組みを整え、人や企業を誘致する。
- ③ ソーシャル・ビジネス=社会の“困りごと”をビジネスの手法で解決する。
（有害鳥獣、空き家・空き施設、耕作放棄地、交通弱者、中心市街地活性化）
- ④ 観光や交通網整備等、館山がリードして安房地域全体で取り組む。



3. 誰もが幸せに安心して暮らせる “ふくしのまち”にする。

安心・安全

- ・ 消防団を核とした実効性のある防災体制の構築
女性消防団・機能別消防団の充実、消防団応援制度
市役所、自主防災会、自衛隊、消防署、警察署等との連携強化
- ・ 通学路の安全確保など、車より人を大切にすま



女性、子育て・教育

- ・ 安心して子育てしながら働けるよう 保育環境の充実
延長保育・土日保育・学童保育の定員拡大
日本版ネウボラの導入（切れ目ない包括的な子育て支援）
- ・ 森のようちえんなど自然を活かした特徴ある教育
- ・ いじめや虐待の問題解決に向けた関係者の連携強化
- ・ 学校給食における地産地消の推進（食の安全性への配慮）
- ・ 将来人口やまちのビジョンにあわせ学校再編に向けた住民との協議を開始
- ・ 女性の声が政策決定に反映される仕組み作り
市職員の女性管理職登用、女性議員を増やす
- ・ 自然環境との共生、公園の整備

高齢者

- ・ 車がなくても生活できる交通弱者対策
- ・ だれでも居場所や役割がある
助け合いの包括ケアシステムを構築
- ・ 健康寿命を延ばし、医療費を削減

雇用・産業

- ・ モノ作りに長けた元気な企業や投資家、研究開発施設の誘致
- ・ 農漁業の振興
- ・ 安房広域での地域商社構想、観光 DMO 構想
（観光地経営を推進する組織）
- ・ ふるさと納税を 10 倍に！
（一般会計歳入の 1 割を稼ぎリピーターを増やす）

まちづくり

- ・ 安房全体の将来構想をベースに各
地区のコンセプトを明確に
- ・ 豊かな里海・里山に近接して人々の暮らしを支えてきた館山市駅周辺の市街地「里まち」の再生
（エリアリノベーション）
- ・ 散策路の整備：中心市街地の歴史・文化・伝統をテーマとしたゾーン、花いっぱい散策路、ビーチコーミング、城山を中心としたまちなか散策、神社仏閣巡りなど